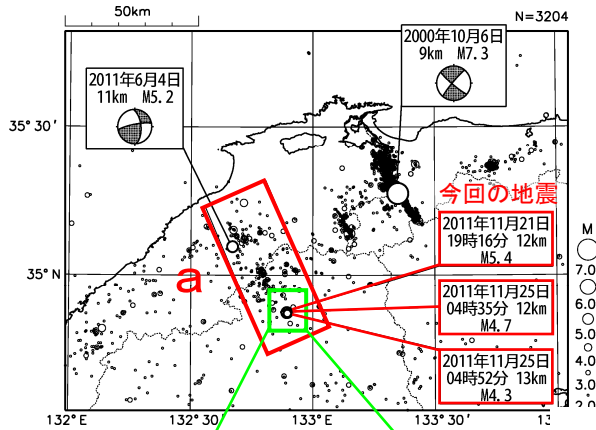


11月21日 広島県北部の地震

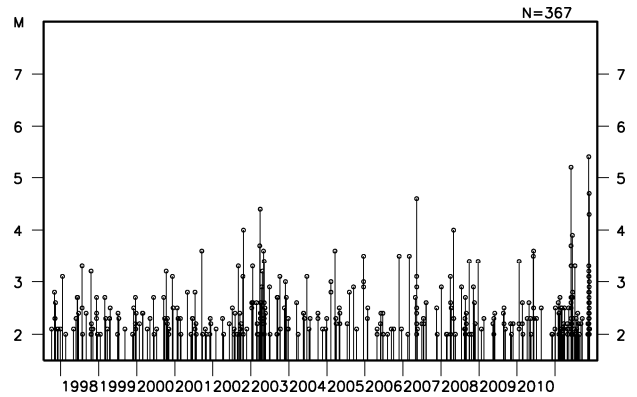
2011年11月21日19時16分に広島県北部の深さ12kmでM5.4の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震では負傷者2人、窓ガラス破損等の被害があった（広島県による）。25日04時35分にM4.7の地震（最大震度4）、25日04時52分にM4.3の地震（最大震度3）を観測するなど、余震活動は活発であった。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では昨年まではM5.0以上の地震は発生していなかった。2011年6月4日に北北西に30km程度離れた場所でM5.2の地震（最大震度4）が発生している。

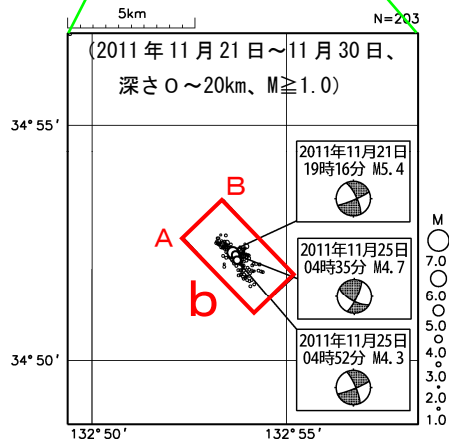
震央分布図（1997年10月1日～2011年11月30日、深さ0～30km、M \geq 2.0）



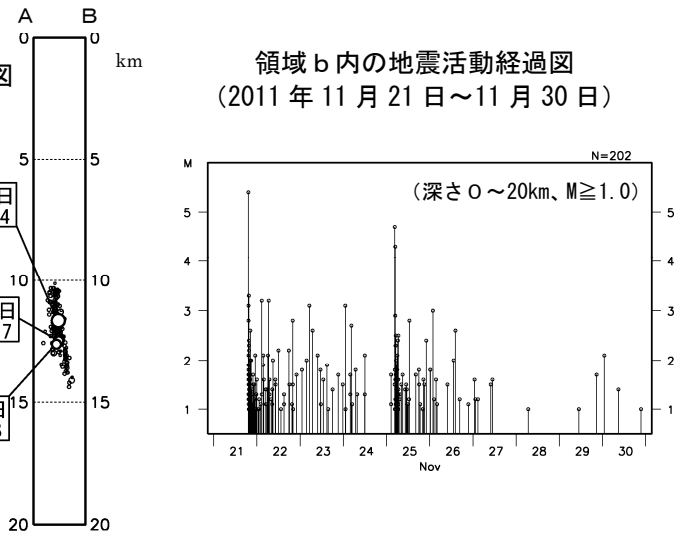
領域a内の地震活動経過図（1997年10月1日～2011年11月30日）



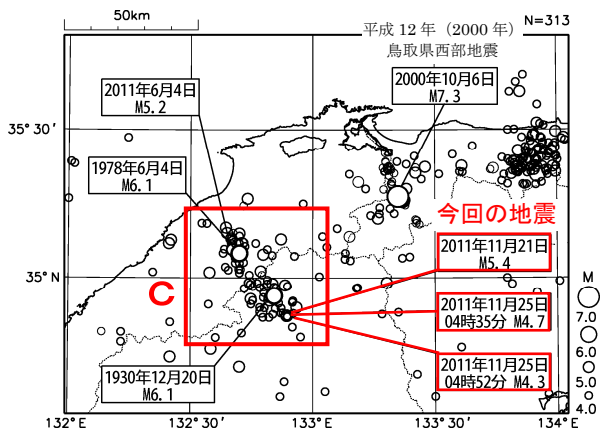
領域b内の断面図（A-B投影）



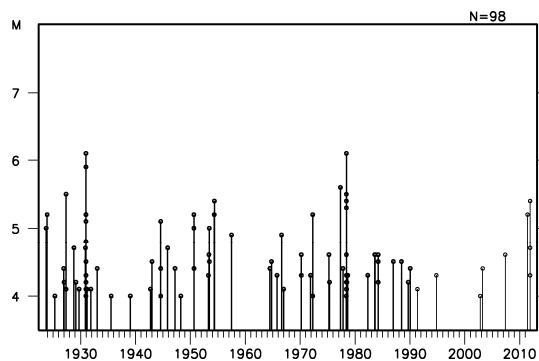
領域b内の地震活動経過図（2011年11月21日～11月30日）



震央分布図（1923年8月1日～2011年11月30日、深さ0～50km、M \geq 4.0）



領域c内の地震活動経過図



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺ではM6.0を超えるような地震がまれに発生している。1930年にはM6.1の地震が発生し、住家破損1棟、その他石崖崩れ等の被害を生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。